



JCI 一般社団法人飯田青年会議所 広報誌

未来

みらい

未来 4月号
2020.04
vol.60 No.664
編集責任者：次代創造委員長 小林大悟
一般社団法人飯田青年会議所
長野県飯田市常盤町41番地
TEL. (0265) 23-7875
FAX. (0265) 23-7872
E-mail: info@iidajc.com
URL http://www.iidajc.com

2020年度 スローガン：REBORN ~クレドを胸に新しい時代、新しい飯田JCを創りだそう~



一月例会

温故知新の志委員会 委員長

池田慎太郎

本年度、第60代理事長 林孝圭君率いる、2020年度一般社団法人飯田青年会議所の活動が始まり、去る1月8日、1月例会においては、永井洋平直前理事長から林孝圭理事長への理事長バツンの引継が行われ、林孝圭理事長による所信表明が行われました。役員、各委員長、そして出向者の決意表明を行い、活動への意気込みを共有しました。

本年度、林孝圭理事長が掲げたスローガンは「REBORN~クレドを胸に新しい時代、新しい飯田JCを創りだそう~」です。(一社)飯田青年会議所創立60周年を迎え、リニア開通に向けて大きな変化が期待されるこのまちで、変わらぬ想いで新たな活動への礎を作り、世代や立場を超えたまちづくりを進め、力強い組織への変革を目指していきます。我々、(一社)飯田青年会議所メンバーはこのスローガンをもとに、今年一年間、一生懸命活動していきます。皆様には様々な場面でお世話になることかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ致します。本年度一年間、我々(一社)飯田青年会議所をよろしくお願ひいたします。



新年会

専務理事
佐々木大地

令和2年1月8日、マリエール飯田にて新年会が行なわれました。

行政関係の皆様をはじめとして、友好団体、歴代理事長、賛助会員や報道機関、全国各地の青年会議所メンバーなど、多数のご来賓の皆様をお迎えして盛大に行なわれました。

私自身2回目の新年会でしたが、林理事長の力強い新年挨拶により、60周年の活動や、会員拡大に向けて決意を新たにし、思い出に残る新年会であったように思います。また、近年はOBのご子息の入会も増え、「是非、息子にも声を掛けて欲しい」などのお言葉をいただくこともできました。

そして、今年の新年会は、(一社)飯田青年会議所が創立60周年という事もあり、大勢の方から激励のお声も掛けていただき、現役メンバーもより一層責任感が高まり、やる気が湧いてきました。

各委員会の活動紹介も行い、今年度の活動の始まりとして大変良いスタートが切れたのではないかと思います。

2020京都会議

事務局長

久保田大樹

去る1月18日から20日まで、(公社)日本青年会議所により、2020京都会議が開催されました。

(一社)飯田青年会議所からも多くのメンバーが参加し、毎年恒例の青年会議所ナイト



思いました。

最終日には国立京都国際会館にて、全国各地から多くのJCメンバーが集まる京都会議の壮大さを感じながら、(公社)日本青年会議所会頭の年頭所信を聞いた事で、メンバーそれぞれが大きな刺激を受け、(一社)飯田青年会議所の活動に向けた想いや団結力が高まる良い機会となりました。

本年度、林理事長の下、60周年という節目の年をメンバー全員が団結し、一丸となって活動していく事を再確認する事が出来、それぞれの青年会議所での活動への熱意も高まったと感じる事ができた京都会議でした。

長野県ブロック全体会議

次代創造委員会

塩澤 亜希

去る1月26日、飯島町文化会館にて「北陸信越地区長野ブロック協議会2020年度全体会議・式典」が行われました。

長野県内各地より、多くの会員が飯島の地に集い、2020年度長野ブロック会長の駒ヶ

でもしっかりと親睦を深める事が出来ました。何年か前は本当に少ない人数での参加だったという理事長からの話を聞き、総勢16名で参加出来た事が良かったと思うと同時に、来年以降はもっと多くの人数で京都会議を体験したいと

根JC所属、下平泰司君をはじめ、各役員委員長の決意表明をお聞きしました。今年度の目的を確認し、気持ちを新たにすることができました。その後、各青年会議所の理事長紹介が行われ、私達が所属する飯田JCの林孝圭理事長も壇上にあがり、今年度は周年事業があるという事を含め、力強い眼差しでお話されました。更に、今年度も長野県内全青年会議所による災害協定調印式も同式場で行われ、万が一災害が起こってしまった際の各青年会議所の協力体制を確認することができました。



二月例会

次代創造委員会

林 直彦

去る2月3日、2月例会を開催いたしました。本例会では「新たな挑戦への礎を築く」をテーマに、第50代理事長田中寿先輩、第55代理事長細川大輔先輩、そして現理事長の林孝圭君をパネラーに迎え、グループディスカッションを行い、周年事業への取り組み方や、当時の想いなどを学びました。

第二部では場所をPizazaヒコノキへと移し、「10年後、飯田JCでやりたいこと」をテーマに「次代開発ミーティング」を行いました。より良い会議の雰囲気作りの為、飲食を楽しみながらのミーティングを行い、熱い議論の交わる場となりました。

青年会議所の名の通り、JCは会議を主とする団体です。堅いイメージのある例会で、飲食をしっかりと楽しみながらの場を設けたというのは、飯田JCとしても珍しい形であり、会議の意義を改めて感じる場ともなりました。我々飯田JCが新たな局面を迎える今年、初心に戻る意味でも、新たな挑戦という意味でも、60周年に向けての大きな弾みとなる例会となりました。「飯を食え、話はそれから」by田中角栄

OB総会

専務理事

佐々木大地

去る2月6日に、2020年度の(一社)飯田青年会議所OB総会が開催されました。約500名もの先輩方がいる飯田JCにおいて、この年に1度のOB総会は、先輩方との交流を深めることのできる貴重な機会でもあります。

飯田JCとしては、各委員長から60周年に向けての委員会活動を紹介させて頂きました。懇親会では先輩方から、現役当時の活動や想いなどを個々に聞くことができ、より一層飯田JCメンバーとしての誇りや責任を感じる事ができました。

私達現役メンバーが活動を行うことができるのは、これまでに先輩方が築き上げてきてくださった信頼のおかげであることを改めて感じ、今年度の活動に対する意欲を高めることができました。



未来ビジョン策定会議

次代創造委員会 委員長
小林 大悟

2月17日(月)、第1回の未来ビジョン策定会議が行われました。創立60周年を迎える飯田J.C.では、次の70周年に向けて、新たな活動方針を定める事業を行っています。その1回目の会議として、まずは、活動圏域である南信州の実状を分析し、これからの取り組みを議論しました。改めて地域の歴史や課題と向き合う中で、活発な意見交換が行われ、青年世代である私たちに出来ることを真剣に考える時間となりました。人口減少問題や温暖化による気候変動のリスク上昇など、特定の地域に限らない課題も多く議題に上がりましたが、目指す未来の地域像を語り合い、これらの課題に対しても一所懸命に向き合うことができました。



飯田J.C.の持つ強みや、魅力についても考えました。59年の長い歴史の中で培われた飯田J.C.の理念を再確認しながら、一人一人の飯田J.C.に対する想いを言葉にしました。また、飯田J.C.の現在の課題を議論することで、これからの活動に必要な要素を明確にすることもできました。これからの10年を考へることは非常に大変ですが、より良い南信州の未来を実現するために、今後も議論を重ねて参ります。

3月例会

NewTrafficSystem委員会
宮下 智博



去る3月2日に、3月例会を開催いたしました。今回は新型コロナウイルス対策に留意する中での開催となりました。会場を前もって消毒し、消毒液を置き、マスクを配るという厳戒態勢で臨み、時間短縮のために例会フォームも省略し、極めて異例の例会となりました。そうした中でも、幅広い分野から約60名という大変多くのご参加を頂き、盛会となりました。

まずは委員会フレンジーションとして、委員長の早川よりMaaSの概要を説明させて頂きました。講師の先生からのお話を伺う前に、参加者の皆様と情報共有する事ができました。続いて、信南交通株式会社代表取締役社長の中島一夫様よりご講演いただきました。新交通網の世界と南信州の情勢というタイトルでしたが、様々な具体的事例や、ご自身の取り組み、将来の見通しも交え、熱心に語って頂き、参加者も聞き入っていました。この例会での学びにより、南信州の未来の為に新交通網から希望を見出す、我がNewTrafficSystem 委員会の活動のスタートを力強く切る事ができました。

新入会員抱負

温故知新の志委員会
吉岡慎太郎



今年1月に入会致しました吉岡慎太郎と申します。以前は東京のIT企業に勤めていたのですが、3年前にUターンをして故郷の飯田市に戻ってまいりました。現在は下久堅で父親の経営する株式会社太陽農場に勤め、野菜果樹の生産しております。

飯田J.C.との関わり合いはありませんでしたが、入会のきっかけとなったのは、他団体に一緒に所属していた飯田J.C.メンバーに誘われたことです。私はいくつかの農業団体に所属していますが、他の業種の人と関わることはありませんでした。飯田J.C.は様々な業種の人と同じ問題に取り組み、それぞれの持ち味を生かしていく団体です。そのような場で、自分自身の経験を活かしながら、学びの場になると思い入会に至りました。

今後は温故知新の志委員会に所属し、IT企業での経験も活用しながら活動に邁進していきます。よろしくお願ひ致します。

NewTrafficSystem委員会
宮内 直哉



本年度一月から入会させて頂きました宮内直哉と申します。

20代の頃は地域のことを深く考えた事はありませんでしたが、30代になり地域の為に何が出来るのかを考えるようになりました。そんな時にご縁を頂き、(一社)飯田青年会議所の皆様

とその活動を知ることができました。今まで、自身の人生で知ることのなかった活動に衝撃を受けました。青年会議所の活動がどのような内容かはっきりと把握できず、まだわからないことが多いですが、活動を通して自身の成長、育った街に微力ながら貢献できればと思っております。自分にしかできない事を考え、地域の為に行動できる人間になれるよう(一社)飯田青年会議所の活動を通して、更に精進して参りたいと思ひます。

至らぬ点もあるかと思いますが、新たな人たちと出会い、共に活動することを通して、私自身も学び成長をして行く為、精一杯努力致します。宜しくお願ひします。

次代創造委員会
中塚 進矢



昨年10月から準会員として入会し、本年度から正会員とさせて頂いた頂きました。中塚進矢と申します。仕事は

J.Aみなみ信州で働いています。

J.C.入会へのきっかけは、居酒屋での先輩方との奇跡的な出会いです。その際、J.C.の活動内容や想いをお話していただき、このまちへの強い想いに感化され、一緒に活動したいと思ひ入会を決意いたしました。

活動に参加させて頂いた中で、J.C.の活動内容は決して簡単な事ではなく、今のままの私では何もできないと思ひました。活動内容はもちろんですが、言葉使いやビジネスマナー等、社会人としての未熟さを痛感しました。これからは、自分にできる、できないではなく、自分でやるか、やらないかの意気込みを持ち、たくさんの方へ挑戦してやり抜く事が、このまちのため、自らの成長のためになると信じて精進して参ります。

60周年までの道のり

～日本一輝くまちをめざして～

飯田JCは本年度、創立60周年を迎えます。そこで、多くのご支援をいただきながら、地域の皆様と共に歩んだ10年間の活動を振り返って参ります。

(一社)飯田青年会議所 クレド策定

2010年
50周年

50周年という節目の年に、49年間の活動を礎にした、飯田JCの信条「(一社)飯田青年会議所クレド」が策定されました。これは100周年に向けた、会社で言う企業理念に当たるもので、現在もメンバーの活動指針となっています。

絆バルーンフェスタ

2010年
50周年

愛さずな委員会の事業として、南信州の一般参加者と企画して実行された事業です。願い事を短冊に書いたものを括り付けた風船を集め、一斉に空に飛ばすというものでした。1,815名分の風船が集められ、その風船たちが空に舞い上がっていく様子は圧巻でした。



50周年記念講演

2010年
50周年

ワタミ株式会社の代表取締役、渡邊美樹氏をお招きしての事業。「挑戦 力強いリーダーへの飛翔」というテーマで講演をして頂き、飯田文化会館に1,209名の来場者が集まり、地域を活性化させる事業となりました。

お仕事ミュージアム

2010年
50周年

毎年盛大に行われる「お仕事キッズタウン」の前身事業として、50周年に始まったのがお仕事ミュージアムです。小学生が様々な種類のお仕事を体験するプログラムで、750名の小学生に参加頂き、初回から盛況でした。



物語から南信州への愛着 "Topophilia"を感じよう!

2011年
51周年

Topophilia(ギリシア語で「場所への愛」という意味)を南信州の人々に伝える事業でした。南信州各地の人々に出会い、その土地に根付く物語をお聞きし、「南信州の物語フェスティバル」という形で発信し、各地の魅力を南信州の方々に伝えることが出来ました。

『南信州探索指令』 ～感じよう!「こころの栄養」

2011年
51周年

親子3組でグループを作り、10か所の企業や団体を巡って非日常的な体験を共有することで、普段なかなかできない心の通ったやり取りができ、親子の親密さが深まる事業でした。

今から10年前、「(一社)飯田青年会議所クレド」が示す、日本一輝くまちを目指した活動が始まりました。自然の美しい南信州の魅力を知り、地域の発展に尽力し、メンバー自身が魅力的なリーダーとなるため、常に感謝の念を持ち、自己研鑽に励んでいます。

今後も引き続き、日本一輝くまちを目指した飯田JCの活動をお送りして参りたいと思います。